

あか毛和牛共励会トップは神内F、ミートコンパニオンが落札

一般社全日本あか毛和牛協会は20日、東京食肉市場で第2回あか毛和牛認定農場枝肉共励会を開催した。出品された「あか毛和牛」(褐毛和種)雌7頭、去勢23頭のなかから、最優秀賞にあたる特別推奨牛に選ばれたのは北海道・(有)神内ファーム21が出品した去勢牛で、(株)ミートコンパニオンが単価2500円で落札した。粗飼料多給で親子放牧により育成されており、評価基準は「☆☆☆(星3)」。格付けは枝肉重量516kgで、BMS No.4、ロース芯面積63cmと「僧帽筋が大きく、無駄な筋間脂肪がすくない」点が評価された。そのほか推奨牛の出荷者(性別、枝肉重量、単価)と購買者は次のとおり。

無印の部⇨岩根孝明(雌、545kg、1706円) (株)ミートコンパニオン
 ▽☆の部⇨小原秀樹(去勢、513kg、1705円) ハンナン(株)▽☆☆の部⇨後藤春雄(去勢、589kg、1703円) (株)ミートコンパニオン。

協会の認定農場は現在51戸。「あか毛和牛」は、赤身の割合が70%以上(BMS No.2〜4) 以上などの「肉質」の評価に加え、粗飼料の給与割合や放牧の仕方といった「育て方」も対象とした独自の評価基準を策定。「あか毛和牛」(無印) から「あか毛和牛☆☆」の4段階で評価している。

伊藤ハム、自社株(合計500万株)の買い付けを終了

伊藤ハムは、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式取得について、次のとおり実施した。なお、この取得をもって5月10日開催の取締役会の決議に基づく自己株式の取得はすべて終了した。

取得株式種類⇨同社普通株式▽取得期間⇨6月1〜18日(約定ベース)▽取得株式総数⇨245万6千株▽取得価額総額⇨10億5535万8023円
 ▽取得方法⇨東京証券取引所における市場買い付け。

【参考】(1)5月10日開催の取締役会での決議内容①取得株式種類⇨同社普通株式②取得株式総数⇨500万株(上限、発行済株式総数へ自己株式を除く)に対する割合2.2% ③株式取得価額総額⇨27億円(上限)④取得期間⇨5月13日〜7月31日。(2)取締役会決議に基づき取得した自己株式累計(6月18日現在)①取得株式数⇨500万株②取得価額総額⇨22億1204万9019円。

米・アーカンソー州からの家きん肉等の輸入を停止―農水省

農水省は20日、米国政府から、アーカンソー州のブロイラー飼養農場1戸において、低病原性鳥インフルエンザ(H7N7亜型)の発生が確認された旨の通報を受け、同州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するとともに、当該事案について同国家畜衛生当局へ追加情報を求めた。